

「令和2年度に実施した仕事」の振返りシート（A：裁量有）

記入日 令和 3 年 3 月 31 日

事業名称		幼稚園施設型給付事業費 [幼稚園施設型給付事業]										
予算科目	款	10	教育費	項	6	幼稚園費	目	1	教育振興費	事業番号	2	
事業の種別	☐ 市単独 ☒ 補助対象 ☐ 市が実施することが法律等で義務付けられているもの(市の上乗せあり)											
担当部署・課長名	保育			課			管理・給付			係	課長名	関田 孝志
この仕事は、どの【施策】の課題を解決するための手段ですか。									施策番号	1 - 1		
【施策名】 学校教育の充実									総合計画書 (ページ)	31		
1 この仕事の目的	① 誰(何)を対象にしていますか。					① ①の対象数や量を、あらわすもの(対象指標)						
	幼稚園を利用できる児童					3~5歳の就学前児童数(4月1日現在)						
	→											
	② ①をどのような状態にしたいのですか。[簡潔に]					② ②の状態になった数・量をあらわすもの(成果指標)						
安心して預けられ、適切な教育が受けられる					幼稚園を利用している児童数							
→												
③ そのために何をしましたか。					③ ③をどのくらい行いましたか(活動指標)							
市内に住所がある児童が幼稚園を利用した際、当該幼稚園の運営者に補助金を交付した。					幼稚園における補助金交付対象児童数							
→												
2 指標の推移			単位	過去2年間の実績		当該年度		成果目標				
				平成30年度実績	平成31年度実績	令和2年度実績	令和3年度目標	令和4年度目標				
	対象指標	①の数値	人	2,222	2,174	2,120						
	成果指標	②の数値	延人	204.0	148.0	182.0						
	目標	②の目標値										
目標値設定の考え方												
活動指標		③の数値	延人	204	148	182						
3 経費	事業費(実績)		円	6,814,114	5,404,268	7,188,134	※人件費の所要人数は、基本的には「人」で表わしますが、一時的な仕事については時間数での表示も可とします。その場合単位を「時間」に変更してください。 人件費(再任用職員以外) 年間単価は、 8,380,000円 時間単価は、 4,300円 で計算してください。 【算出根拠】平成31年度決算数値。 (退職手当組合負担金、共済費も含む。)					
	財源	一般財源	円	2,453,979	1,827,782	2,267,857						
		特定財源(国・都・他)	円	4,360,135	3,576,486	4,920,277						
		(うち受益者負担)	円									
	人件費(目安)	所要人数(再任用以外)	人	0.1	0.1	0.1						
		所要人数(再任用)	人	0.0	0.0	0.0						
		職員人件費(再任用以外)	円	824,400	831,000	838,000						
職員人件費(再任用)	円	0	0	0								
事業費+人件費		円	7,638,514	6,235,268	8,026,134							
4 環境変化等	(1) 開始年度		27 年度									
	(2) 環境の変化											
・支払いの基準となる国の「公定価格」が年々上昇しており、運営費用が増加している。 ・令和元年10月から幼児教育・保育の無償化及び東京都の多子世帯負担軽減事業が始まり、利用者負担(保育料)が減った。それに伴い、利用者負担の減額分が運営費用として増加した。												

事業名称	幼稚園施設型給付事業費 [幼稚園施設型給付事業]			
担当部署・課長名	保育	課	管理・給付	係 課長名 関田 孝志

5 市民等の意見	この仕事に関して、令和2年度中に寄せられた市民・議会等の意見、また、市民・サービス利用者等の実態やその意識について	
6 市民協働	(1)この仕事の実施にあたり、市民協働に取り組みましたか。取り組んだ場合、取組手法欄の種類から番号を選択し、取組手法欄に番号を記載してください。（複数回答可）	
	☐ 取り組んだ	取組手法：
	☒ 取り組まない	【取組手法の種類】 ①共催 ②実行委員会・協議会 ③事業協力 ④事業委託 ⑤補助・助成 ⑥情報提供・情報交換（広報媒体： ）⑦後援・場の提供 ⑧その他（ ）
	(2)令和3年度に向け、さらに適した協働の形態とするために「考え」「気付いた」点	
7 課題	(1)令和2年度に課題とした内容（「平成31年度に実施した仕事」の振り返りシート 7課題（3）を転記）	
	単価改正や加算項目の変更・追加等があった際には、運営費の管理表を作成し適正に管理する。	
	(2)(1)の課題解決に向けた取組や、事務改善など、令和2年度に実施したこと。	
	・幼児教育・保育の無償化に伴う加算項目の追加や単価改正があったため、それに応じた請求様式を作成した。 ・運営費の管理表を作成して、支払い状況などの適正な管理を行った。	
	(3)(2)を踏まえた今後の課題（仕事の最適化・合理化の提案）	
8	施策貢献状況（この仕事は、総合計画（基本計画）に掲げる課題の解決手段になっているか。）	
	施策名： 学校教育の充実 ☒ なっている ☐ 環境の変化等により成果が減少している ☐ 類似の事業が他にあり改善の余地がある 事業名（ ）	
9 今後の方向性	(1)仕事の方向性（「7 課題（3）」の課題及び「8 施策貢献状況」を踏まえた具体的な改革・改善案など）	
	☐ 拡大 ☒ 現状維持 ☐ 縮小 ☐ 休止 ☐ 廃止 【取組内容】 ・単価改正や加算項目の追加等により、年度末の補助金計算が複雑になるため、運営費の管理表を作成し適正に管理する。	
	(2)上記(1)の取組にあたり、克服すべき問題点、必要な調整・準備等 ・運営費にかかる加算項目の増加や、算出方法の複雑化により管理シートを作成することは容易ではないため、東京都からの情報提供をもとに、加算内容の確認と制度理解を迅速に行い、準備期間を十分に確保し対応する。	